



オリーブ通信

2013年
12月号
2013.
12.14発行
第146号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



続報☆

合格おめでとう!

日本語能力検定試験で、しばらくご無沙汰だった生徒さんから、続々と試験合格の報告がありました。

きたむら ^{れな} 北村 麗奈さん (中国) (N3 合格)

フ ^{インツン} 胡 寅復さん (中国) (N2 合格)



オリーブで一年間、先生と色々勉強して、こんどは二級を目指してもっと頑張りたいです。先生にたくさん教えてもらいました。先生ありがとう。

N2 合格しました！
次は、12月初旬の N1 の試験を受けます。試験が終わったら、またオリーブで勉強しますのでよろしくお祈りします。
(11 月インタビュー)

常に向上し続ける生徒さんたち。
近年、試験を目指す生徒さんが増えています。

試験対策のためのテキスト(オリーブ蔵書)もご活用下さい。(倉庫の棚にあり)

中川先生のへんてこ日本語

④1

なので

風邪をひきました。なので授業を休みます。今日はとても寒いです。なのでたくさん着込んで来ました。こんな「なので」は是非か？

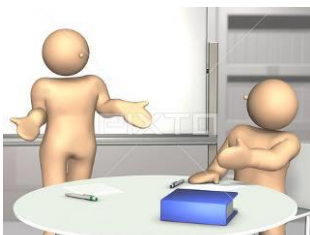
少なくとも私の辞書には「なので」という見出しは載っていない。本文章を書いていても、Word が警告を発してきた。

日本語教育で、できれば避けて通りたい指導項目の一つに「から／ので」がある。両者には、厳密には使い分けの相違があるが、それはさておき、動詞や「い」形容詞には、「行くから／行くので」「おいしいから／おいしいので」のようにそのまま後接するのに対して、名詞や「な」形容詞には、「学生だから／学生なので」や「静かだから／静かなので」などのように、「だ」や「な」を介して後接する、とシステムティックに教える。

また「から」には「だから」という立派な接続詞が存在し、「明日は日曜日です。だから少し朝寝坊ができます。」などと言えるし、「だから言ったじゃないの。」「だから・・・」などと、文章の頭に現れたり、発話の順番取り (turn taking) 機能を有したりするものとも考えられるが、これと同じ機能を「なので」が有するか、というのが本文の主眼である。

読者の皆さんはいかがお考えだろうか。あまりにも自然に見聞きする「なので」にいくばくかの苛立ちを覚える筆者ではあるが、両者に区別がなくなると、日本語教育の指導も少しは楽になるかもしれない。「先生、雨が降りました。なので授業を休みました。」なんて言ってきたらどうしよう?!

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



大阪の秋を味わう一日

～大阪城、大阪歴史博物館、NHK 大阪放送局 2013/11/24(日)



紅葉の大阪城公園を満喫♪

オリーブ恒例、秋の遠足に行って参りました。ここのところ土日は雨の日が多く、少々心配していましたが、日頃行いの良い方ばかりだったおかげで絶好の行楽日和となりました。17名（うち生徒3名と家族2名）と少しさびしい参加人数ではありましたが、電車移動には迷子も出ずよかったかも？紅葉まっさかりの大阪城公園を抜けずは大阪城へ。階段で5階まで息を切らして昇った天守閣展望台からの眺めは、秋色の豪華な絨毯を観るようで本当に美しく心が洗われました。



草津、南草津、京都、大阪～

各駅から1本の電車に乗り込み、目的地に無事集合
よっ！若旦那☆

お着物お似合いです♪

難波宮、大阪の歴史に想いを馳せる。

各自で昼食の後、大阪歴史博物館へ移動。

エレベーターで8階に到着すると、そこには大阪城周辺を一望出来る大きな展望フロアが。一定の時間が来るとその窓ガラスがスクリーンとなり、奈良時代の難波宮（なにわのみや）大極殿が3Dグラフィックで再現されます。古代の宮廷での儀式を観ながら、かつて大阪が都であった歴史ロマンにタイムスリップ～☆

フロアを降りて行くと、近時代の懐かしい大阪に出会います。大正末期～昭和初期の街や庶民の暮らしから、賑わっていたモダン都市大阪を存分に味わう事ができました。——>



展示の一部
に？！お見事☆



最後に難波宮跡地の上で、集合写真をパ
シャリ♪

街へ繰り出すご夫婦や仲良しグループ、
車内で爆睡する少々お疲れの人などなど、
ステキなたくさんのふれあいを楽しんだ
一日でした。 By さのちん



教えることって???

「愛を持って、ココロを尽くす」

平岡満喜

さて、教をはじめたころのワタクシは、生徒の目や保護者の評価ばかり気にしていました。講師として何でも完璧でなければいけない、英語を間違ったら講師失格だと思っていました。教えることも、生徒と接することも怖かったのを覚えています。レッスンを迎えるのが憂鬱に感じたことさえありました。

あるとき、ワタクシの上司(ポストと読んでいます)は言いました。

「十何年英語を教え、学び続けている私でも英語を間違えることもあるよ。完璧ではないから。で、間違ったら『間違った。』、知らなかったら『知らない。』って素直に言うよ。」

さらに、「大切なのは、このスクールに集う生徒一人一人にどうなってもらいたいのか、誠意を持って接しているか、愛を持って接しているか、だと思う。」

その言葉を聞いて、ワタクシはハッとさせられました。評価や人がどう思っているかなど、カタチばかりを気にして、素直ではないな…、と思いました。自分中心になってしまい、生徒一人一人と向き合っていないと感じたのです。これではいけない！まずは、ワタクシから素直に、生徒に近づいていこうと心がけました。

今も、生徒に対して感情的になったり、向き合うのが怖いときがあったりするとその都度、生徒に愛を持っているか、素直に向き合っているか、誠実であるか…と思います。

ワタクシは、講師としてもまだまだ不十分で失敗ばかり…。それでもキラキラした目でレッスンに来てくれる生徒に心から感謝している日々を送っています。

様々な人に支えられ、育てていただいているワタクシ…。ココロから感謝して、また頑張ります！！



日本語を教えています。～新米教師日記～⑤



授業中、生徒のAさんに「結婚の反対は何ですか？」と聞かれました。

「結婚の反対？離婚かな。」

Bさんが「独身じゃないの？」と言いましたが、「結婚しました。でも今はしていません」とAさんが言ったので、妊婦さんであるAさんが聞きたかったのは「離婚」という言葉です。

私を含めクラス全員がびっくりして、みんな「どうして知りたいの？」、Bさんは「覚えなくていいよー」と言ったのですが、Aさんはにこにこしながら「離婚」をノートにしっかり書きました。

それから新しい文型を勉強する度に、Aさんは「離婚」を使って例文を作って質問をしてくれます。

「母に言います。離婚します。母が言います。結婚しておいてください。」

「離婚の予定です。」

その度にクラスがどよめき、Bさんは「なんで？赤ちゃんどうするの？」と本気で心配をしてくれているのですが、Aさんはただにこにこしています。

よくよく聞くと、自分はもう結婚しているから、「結婚の予定です。」というのはおかしいので「離婚の予定です。」を考えたそうです・・・。

Cさんの「ご主人悪い？」という質問には「いいえ」とはっきり答えていたので心配無用だとは思いますが。

どうして「離婚」という言葉を知りたくなって、それを気に入ってしまった？のか分かりませんが、「離婚」に代わって彼女が気に入るようなポジティブな言葉をみなさま教えてください。



(小島 裕子)

先月の活動(11月)

日本語教室 11/2(M), 9,16(3Fにて),30 (4回)
 BNN会議 なし(納谷)
 まちセン運営協議会施設部会 11/21(木)(田中一)
 オリーブ秋の旅行 11/24(日) 大阪城、歴博
 ※BBC取材 11/30(詳細は下記)

今月の活動予定(12月)

日本語教室 12/7(M), 14, 21 (3回)
 BNN会議 未定(納谷)
 まちセン運営協議会施設部会主催落語会スタッフ
 12/1(日) (田中一)
 まちセン運営協議会全体会 12/19(木) (田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または参加予定者。敬称略

お知らせ

教室の変更:1/11 3F(306)に
 BBC取材の様子を、『Inter Shiga』にて
 放映されます。(YouTubeもあり)
 12/19(木) 21:49~21:54の間



参加人数(11月)

	11/2	11/9	11/16	11/30
先生	13人	11人	16人	16人
生徒	11人	11人	17人	12人



秋の旅行参加人数(11/24)

生徒 3人
 先生 11人
 会員外 2人
 計 16人
 みなさん、お疲れさまでした!

教会でクリスマス

クリスマス祝会:12月23日(月)13~17時

ゴスペルグループによるクリスマス賛美、ゲーム、キャンドルサービス等最高のひとときを一緒にすごしませんか?(軽食があります。)

Christmas Eve 礼拝:

12月24日(火)19時半~20時半

厳かな中で行われるキャンドルサービス...、牧師先生からの聖書メッセージ...、「本当のクリスマス」を感じてください。



場所:守山ジーザスハウス
 (プロテスタントキリスト教会)

《秋の旅行感想、反省まとめ...12/7スタッフミーティングより》

【参加について】

楽しかったが、生徒の参加が少なかったのが残念。興味がない?遠かった?時期? どうやって生徒に来てもらうか、来年の課題。→ 来年に向けて、伏見の下見に行く。(重松、納谷)

【行き先について】

- ・着物が無料で着られて良かった。歴史博物館は日本人が見ても懐かしく思い楽しめた。『ごちそうさま』のTVセットが興味深かった。大阪城での時間が短かったのが残念。もう少し見たかった。
- ・歴史博物館が気に入った。それぞれの時代がわかり、土器もおもしろかった。とても勉強になった。次回は、他の外国人も誘えると思った。(中国人参加者)

【交流について】

移動は固まって行くが個人行動が多く、団体で何かをするという時間がなかったのが残念。昼食もバラバラだったし。ちょっとお茶でも...といった、みんなと話せる交流の場がもちたかった。次回に期待!

会員の動き(11)

<入会> なし

<退会> 魏 薇さん(11月末帰国)

<賛助会員> なし

編集後記

9月号で、『入会班のつぶやき』で、つぶやいて直後、しばらく「休みます」メールが減ったのは気のせいかな。「そんなふうにしてたんや」とか、「全然気づかなかったわ」とか、入会班経験のある人には「すごいわかる、わかる」とか、数人の方から声をかけられました。ただ、誤解されては困るのですが、あの記事は決して愚痴・文句を言ったつもりではなく、“おもしろい現象だ!”と思って書いたのが発端であり、みなさんには笑って読んで欲しいのです。ただ、辞められるのはイタイし休まれるのもイタイ、というのは事実ですので、みなさん、今後ともよろしく願いますね。あれ? やっぱり愚痴?? ではよいお年を! 来年もよろしく願います。(こはる)

